

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 百日咳の報告が1例(10歳未満女性)(第5週追加報告分)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、ウーブ、嘔吐です。感染地域は国内で、感染経路は家族内感染です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症については、下記のような手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策に努めていただくことが重要です。
  - ・まめに手を洗いましょう。石鹸を使い、流水でよくすすぎましょう。
  - ・新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。外出後や咳の後は特に、口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
  - ・咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど、咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は、しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。周りの人への感染を予防するため、マスクを着用しましょう。
  - ・人が多く集まる場所は、なるべく避けましょう。

詳細については、下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「【緊急情報】新型コロナウイルス関連のお知らせ」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000263411.html>

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は2週連続して減少し8.91(615例)となり、注意報レベルの定点当たり報告数「10」を下回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 31例(肺結核 17例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 12例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 8例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

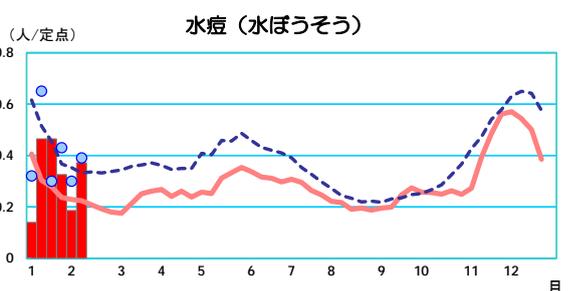
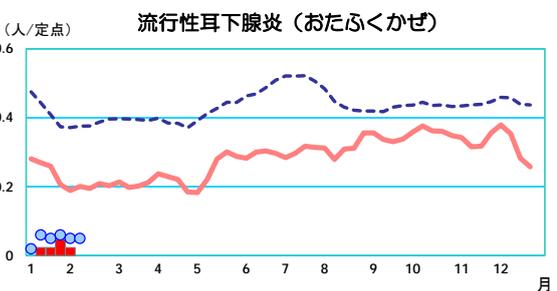
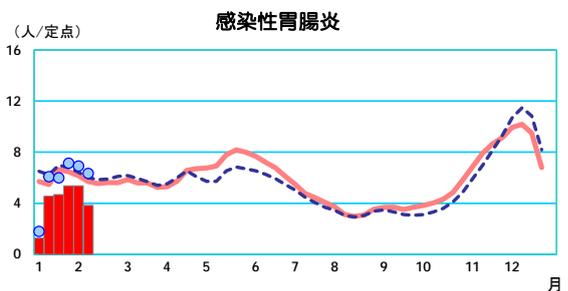
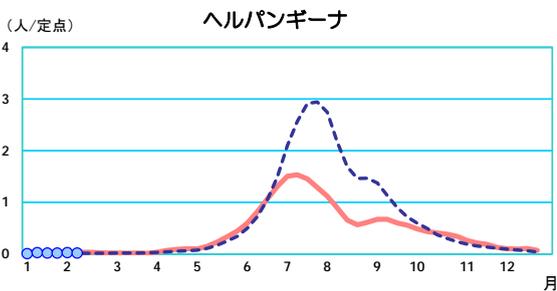
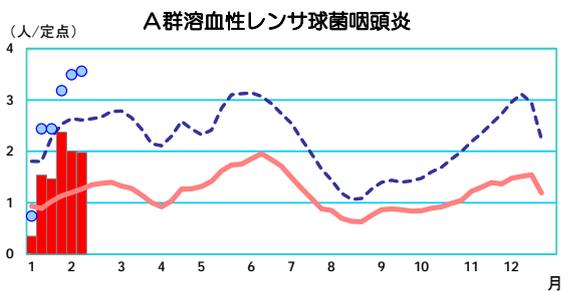
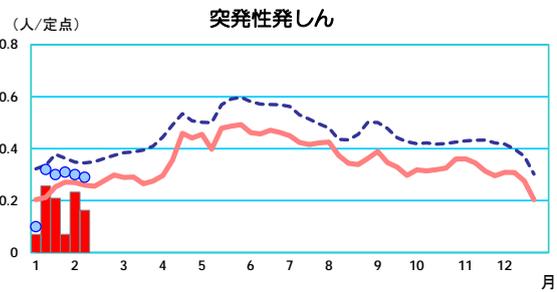
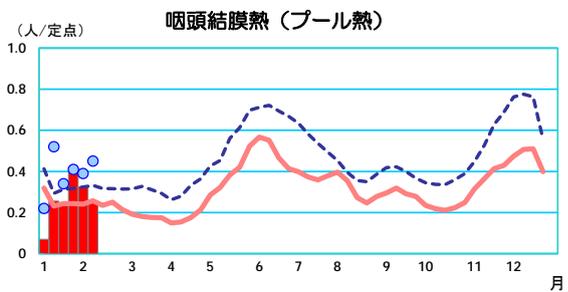
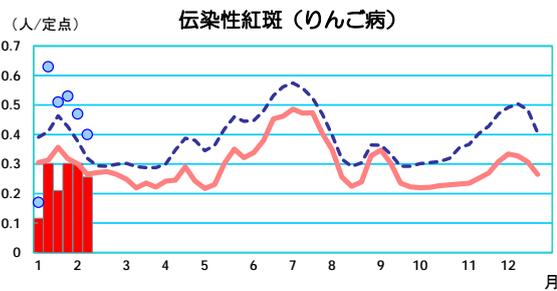
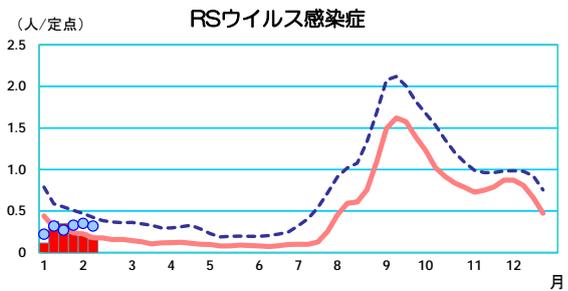
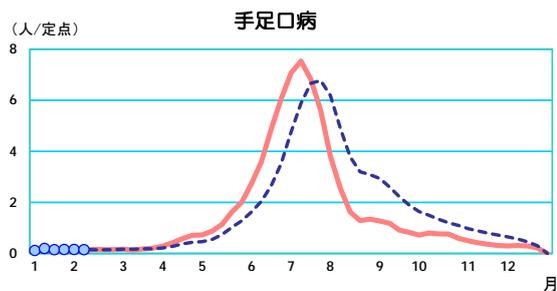
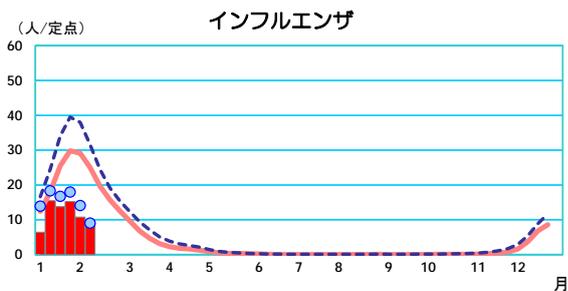
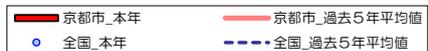
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	8.91	615
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.84	165
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.98	85
	③ 水痘	0.37	16
	④ 咽頭結膜熱	0.26	11
	④ 伝染性紅斑	0.26	11
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

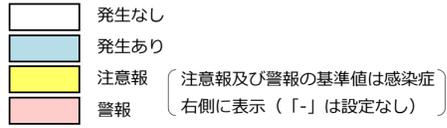
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <インフルエンザ>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2020年2月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

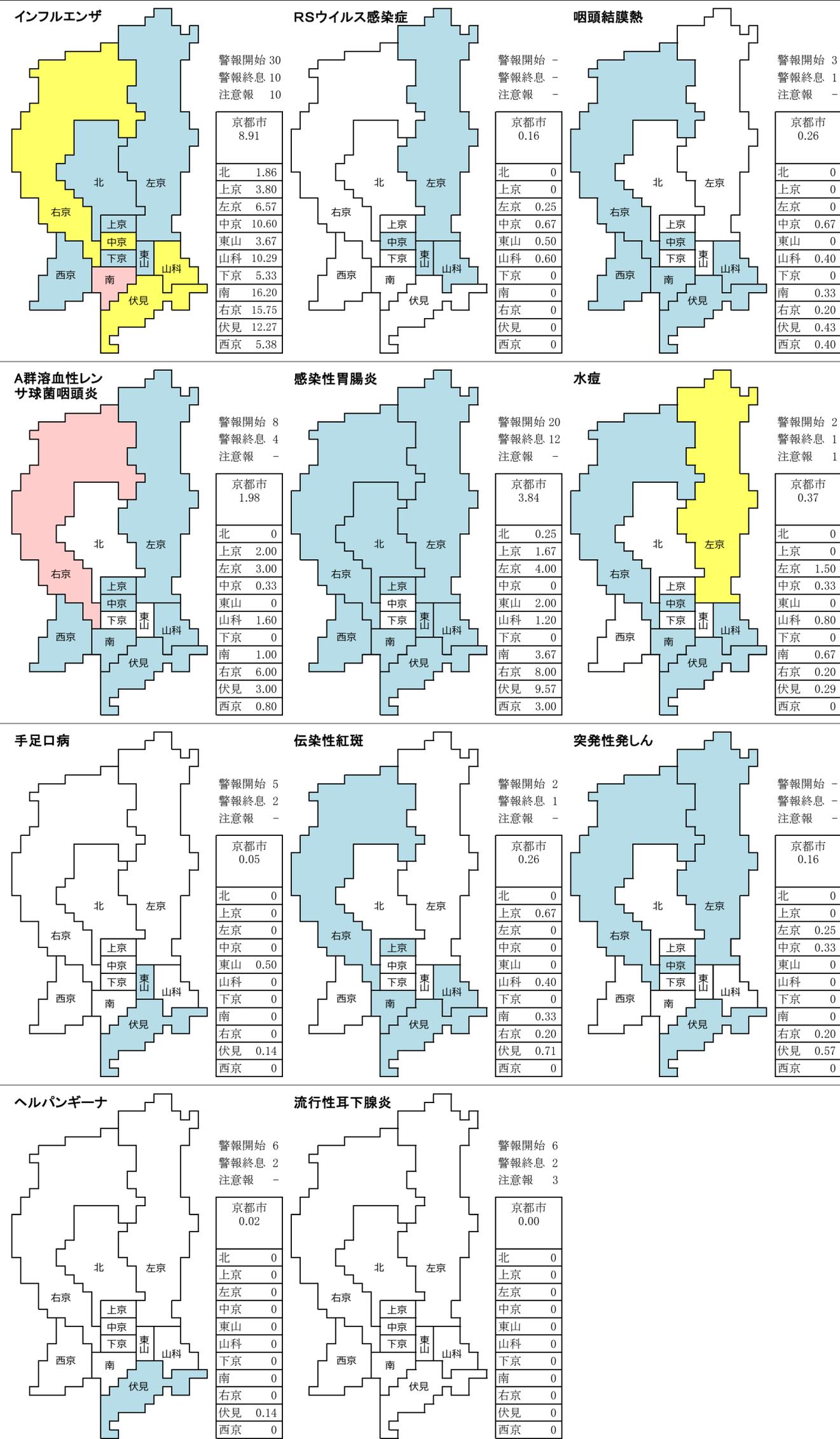
# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第6週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



# 第6週(2月3日～2月9日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は2週連続して減少し8.91(615例)となり、注意報レベルの定点当たり報告数「10」を下回りました。全国でも同様に報告数が減少し、今週9.04となり「10」を下回りました(図1)。

京都市における今シーズンの流行状況は、令和元年第48週(令和元年11月25日～12月1日)に定点あたり報告数が流行入りの指標である「1」を上回った後、第50週(令和元年12月9日～12月15日)に「10」を超え、第52週(12月23日～12月29日)にはピークを迎えました。翌週の第1週は年末年始の医療機関の休診等の影響から一旦「10」を下回ったものの、第2週から再び「10」を超えて推移し、ピークから6週経過した今週、再度「10」を下回りました(図1)。今シーズンは注意報発令には至ったものの、その後は増減を繰り返しながら推移し、警報レベルとなるような報告数には至っておりません。ピーク時の週から「10」を下回るまでの期間は6週間で過去5シーズンと比べて平均的な長さとなりました(表1)。ピーク時の定点当たり報告数18.28は過去5シーズンで最も低かったH26/H27シーズンの28.60を大きく下回りました。この一因としては、本シーズンは新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が日本でも確認され、報道等で連日、手洗いやうがいの徹底、不要不急の外出の抑制を呼び掛けていることで、インフルエンザにも一定の予防効果を及ぼしている可能性が推測されています。

全国的にも報告数は減少傾向となっており、都道府県別では北海道を除く46都府県で2週連続して減少し、注意報レベルは前週44都道府県から今週18道府県となりましたが、今しばらくの注意が必要です。こまめな手洗いや咳エチケットなど基本的対策を継続してください。

このほかのインフルエンザ発生状況の詳細や予防対策については下記URLを御参照ください。

- インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- インフルエンザの発生状況について(健康安全課のホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

図1 本市及び全国の定点当たり報告数の推移

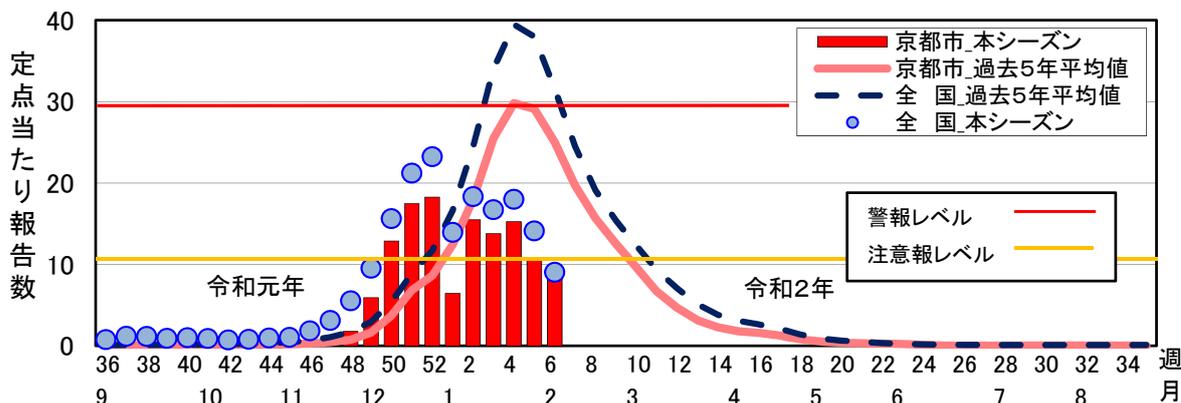
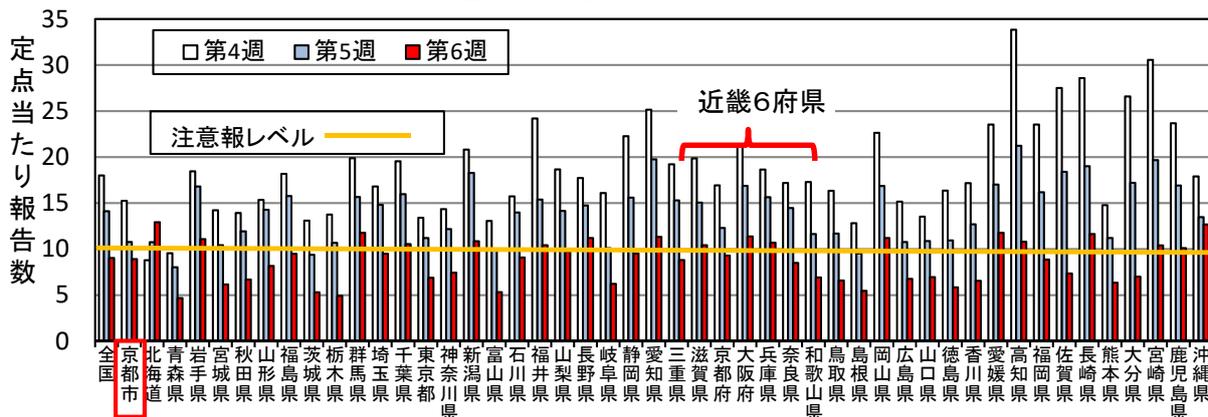


表1 京都市の過去5シーズンと今シーズンの流行状況

シーズン	H26/H27	H27/H28	H28/H29	H29/H30	H30/H31	R1/R2
「10」を上回った週	第51週	第4週	第2週	第52週	第2週	第50週
ピーク時の週	第52週	第7週	第5週	第5週	第4週	第52週
ピーク時の定点当たり報告数	28.60	32.44	29.59	47.64	47.71	18.28
「10」を上回ってからピーク時までの期間	1週間	3週間	3週間	5週間	2週間	2週間
「10」を下回った週	第7週	第12週	第13週	第10週	第7週	第6週
ピーク時から「10」を下回るまでの期間	7週間	5週間	8週間	5週間	3週間	6週間

図2 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第6週

疾病,行政区別報告数

2019年2月3日～2019年2月9日

データ入手日:2020年2月12日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	13	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	19	-	-	6	5	-	-	2	-	-	-	-	-						
左京	46	1	-	12	16	6	-	-	1	-	-	-	-						
中京	53	2	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東山	11	1	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-						
山科	72	3	2	8	6	4	-	2	-	-	-	-	-						
下京	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	81	-	1	3	11	2	-	1	-	-	-	-	-						
右京	126	-	1	30	40	1	-	1	1	-	-	-	-						
伏見	135	-	3	21	67	2	1	5	4	1	-	-	-						
西京	43	-	2	4	15	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	615	7	11	85	165	16	2	11	7	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1.86	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	3.80	-	-	2.00	1.67	-	-	0.67	-	-	-	-	-						
左京	6.57	0.25	-	3.00	4.00	1.50	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	10.60	0.67	0.67	0.33	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-
東山	3.67	0.50	-	-	2.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
山科	10.29	0.60	0.40	1.60	1.20	0.80	-	0.40	-	-	-	-	-						
下京	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	16.20	-	0.33	1.00	3.67	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-						
右京	15.75	-	0.20	6.00	8.00	0.20	-	0.20	0.20	-	-	-	-						
伏見	12.27	-	0.43	3.00	9.57	0.29	0.14	0.71	0.57	0.14	-	-	-						
西京	5.38	-	0.40	0.80	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	8.91	0.16	0.26	1.98	3.84	0.37	0.05	0.26	0.16	0.02	-	-	0.10	-	-	1.00	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第6週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年2月3日～2019年2月9日

データ入手日:2020年2月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	615	1	9	17	18	20	25	52	50	67	41	53	118	19	32	27	30	9	9	7	11	
RSウイルス感染症	年齢3	7	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		11	-	1	1	1	1	3	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		85	-	-	3	5	6	12	10	14	11	4	4	8	-	8	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		165	2	14	28	18	13	13	11	12	13	10	5	15	1	10	-	-	-	-	-	-	
水痘		16	-	-	1	-	1	4	3	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		11	-	-	2	-	-	3	1	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		7	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	8.91	0.01	0.13	0.25	0.26	0.29	0.36	0.75	0.72	0.97	0.59	0.77	1.71	0.28	0.46	0.39	0.43	0.13	0.13	0.10	0.16	
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.98	-	-	0.07	0.12	0.14	0.28	0.23	0.33	0.26	0.09	0.09	0.19	-	0.19	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		3.84	0.05	0.33	0.65	0.42	0.30	0.30	0.26	0.28	0.30	0.23	0.12	0.35	0.02	0.23	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.37	-	-	0.02	-	0.02	0.09	0.07	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.26	-	-	0.05	-	-	0.07	0.02	0.02	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.16	-	0.02	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00		-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第6週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年2月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	444	1,068	950	1,052	743	615
RSウイルス感染症	5	16	15	10	10	7
咽頭結膜熱	3	11	10	17	14	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	66	63	102	86	85
感染性胃腸炎	55	196	201	231	231	165
水痘	6	20	20	14	8	16
手足口病	2	4	-	1	2	2
伝染性紅斑	5	13	9	13	13	11
突発性発しん	3	11	9	3	10	7
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	1	1
流行性耳下腺炎	-	1	1	2	1	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	7	2	5	2	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	539	1,413	1,280	1,451	1,121	922

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	6.43	15.48	13.77	15.25	10.77	8.91
RSウイルス感染症	0.12	0.37	0.35	0.23	0.23	0.16
咽頭結膜熱	0.07	0.26	0.23	0.40	0.33	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	1.53	1.47	2.37	2.00	1.98
感染性胃腸炎	1.28	4.56	4.67	5.37	5.37	3.84
水痘	0.14	0.47	0.47	0.33	0.19	0.37
手足口病	0.05	0.09	-	0.02	0.05	0.05
伝染性紅斑	0.12	0.30	0.21	0.30	0.30	0.26
突発性発しん	0.07	0.26	0.21	0.07	0.23	0.16
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.70	0.20	0.50	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	8.64	24.04	21.60	24.91	19.71	17.11

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。